

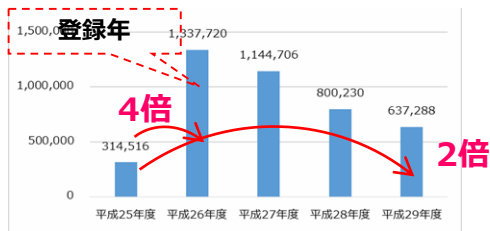
平成31年度 新規施策枠の考え方

①環境分析

A. 世界遺産登録実現時の想定・量的変化

- ・百舌鳥市古墳群と条件が近い富岡製糸場をベースに現在の4倍の来訪者数を想定
- ・観光客の急増で市民生活や文化財の保存などに影響を及ぼす、短期的オーバーツーリズム発生の懸念

富岡製糸場の入場者数の推移



B. 世界遺産登録実現時の想定・質的变化

- ・初めて堺を訪れる観光客の増加（土地勘なし）
- ・外国人や遠方からの観光客の増加
- ・世界遺産や歴史・文化の興味の深さにばらつき

C. ラグビーワールドカップ2019、G20による世界からの日本・大阪への注目

D. 観光市場の変化

<国内旅行>

- ・景況感の改善や休暇取得の促進効果で、旅行人数は増加傾向
- ・若い年代で旅行回数が増える一方でシニア層が減る見通し
- ・**その地に伝わる生活文化の体験が旅行者の関心を集めている。**

<訪日旅行>

- ・ますます加速化するFIT（個人旅行）化。趣味・テーマ型、コト消費
- ・安定的な東アジアと東南アジアの伸び。周遊型より**拠点放射型（大阪宿泊＋一足伸ばし）**
- ・国の欧米豪戦略強化
- ・リピーター増加による訪問先の拡散（レンタカー、民泊、LCC）、**「日本の生活文化体験」への需要**
- ・AIやVRなど新しい技術を活用した外国人向けサービスがより拡大

②とるべき対策のポイント

A. 短期的オーバーツーリズムへの対策

- ・観光客の集中による渋滞など住民生活への影響の回避
- ・初めて堺を訪れる観光客への地理、文化、歴史などの理解促進
- ・外国人観光客への対策

B. 周遊促進、経済効果

- ・無料のため集中が予想される21階展望ロビー、拝所から他のスポットへ
- ・路線バス、観光割引タクシーに加える東西交通手段

③事業展開案

A オーバーツーリズム対策

◎拝所前の混雑緩和

- ・観光レンタサイクルの更新と利用促進（多言語、周遊）
- ・VR機材の増設による団体受入力強化
- ・VRコンテンツ拡充による誘客力強化
- ・大仙公園観光案内所の時間延長、定点ガイド拡充
- ・大仙公園観光案内所での手荷物預かり

◎堺駅利用促進

- ・堺駅観光案内所機能充実（手荷物預かり、産品充実）

◎外国人対策

- ・市内事業者向けインバウンドセミナーの開催
- ・各種ツール類の多言語化

◎堺への初訪問者対策

- ・堺ゴールデンルートへの誘導とツールの充実

B 周遊促進、経済効果

◎着地型ツアーの開発と利用促進

- ・各観光案内所でのツアー販売と政策的利用促進（格安設定による交通手段代わりのツアー利用）
- ・体験型メニューの開発
堺産品をテーマとする体験型メニューを開発することで堺産品の価値の理解促進

集中回避と周遊促進

